

2021 年度第 1 回一年生クラス代表懇談会

当日の意見まとめ（授業・履修関連）

※クラス代表懇談会当日にいただいた意見を整理したものです。

☆はほぼすべてのグループで出た意見、◎は 5 件以上あった意見、○は 2 件以上あった意見につけています。

1. 授業について

1-1. 授業の実施形態・授業支援システムについて

☆課題の提出方法が複数あり（CLE、Google Form、ロイロノートなど）煩雑だ

◎CLE（Blackboard）の To-do リストに出てこない課題があり忘れやすい

◎対面とオンラインの併用よりも、どちらかに統一してほしい

○CLE（Blackboard）での同期型授業は他サービスに比べて不具合が多い

○課題を夜にこなすなど、オンライン授業に合わせた生活リズムが定着している

○大学に行く前に講義資料を家で印刷したいので、早めのアップロードをお願いしたい

○コミュニケーションを重視する外国語科目などはなるべく対面してほしい

○実施形態（オンラインか対面か）について早めの連絡をお願いしたい

・指定教室でマイクありのオンライン授業を受ける時、他の学生が気になって集中できない

・オンラインでの試験実施では不正行為対策を行うなど公正を期してほしい

・Zoom の使い方に慣れない先生もいらっしゃる（画面共有に手間取るなど）

・CLE にアップロードされる動画が容量の関係で古いものから順次削除されている。

1-2. 授業の内容について

○情報教育の提出物が多い、内容が実用的でない

○資料だけで行われる授業や、蓄積型のオンデマンド授業では質問ができない

・授業によっては、資料を読むために講義の本来の授業時間以上かかってしまうものがある。資料の分量を調整してほしい。

- ・スポーツ科目は選択種目によって課題の量が大きく違う
- ・オンデマンド授業の課題が一方通行で学生側の意見（課題量など）が教員に伝わらない
- ・オンデマンドからリアルタイム（Zoom）の授業になり、オンデマンドの時は教員が怖い印象だったが、リアルタイムで授業を受けてみるとそうでもなく、同期型になってよかった。
- ・課題提出後のフィードバックがなく、その後の授業でも間違いが多かった例を指摘するだけで正解を教えてもらえない専門科目がある。
- ・「阪大生のためのアカデミックライティング入門」は5月半ばの講義で案内があり、もう少し早めに教えてもらえれば、他の授業の参考にもなっていたと思う。高校の時はWordなどを使っていなかったなので、役立っている。

1-3. マルチリンガル教育科目について

○ネイティブの先生との連絡、意思疎通が大変だ

○e-learning の TOEFL 免除基準が厳しい

- ・日本で暮らしていて英語を話す必要もない学生に、さまざまな不満の声がありながら英語を学ばせる理由とは。なぜ必修なのか？
- ・外国語の授業は、授業間で差がある。全体としての共通の到達目標はあるか。
- ・「第二外国語」と「グローバル理解」など、同じ言語の授業の組み合わせにおいて、先生の間で進度が異なり、まだ習っていない内容が授業に出ることがある。共通の指針があったほうがよいのではないか
- ・選択可能な英語の授業について、それぞれの難易度がわからず、受けたら想定と違っていたという声が聞かれる。学生のレベルに応じた振り分けができないか
- ・「総合英語」の標準クラスと上級クラスの内容に差があり、また標準から上級への変更は学期の変わり目でも行うことができないので困る
- ・「総合英語」の課題が多く、専攻語（外国語学部）の勉強に支障が出る。オンデマンドから ZOOM に変わっても課題の量が変わらないのは負担が大きい。
- ・英語の中間テストで、英語を話す動画を提出しクラスメイトに見てもらおうという課題形式が良かった（クラスメイトに見られているという場面がなく、恥ずかしさがないから）

1-4. その他授業について

○授業間の休憩時間が 10 分では短すぎて移動が間に合わない

- ・授業で使われたスライドを CLE にアップロードして欲しい
- ・教員にメールで質問する時に「こんな質問でも良いのかな」と思ってしまう
- ・4 月初めの授業選択で、定員を超えてしまったとき抽選を行わずに自主的な退出を求めた先生がいた。不公平だと思うので、抽選を徹底してほしい
- ・ある授業で、大学間での学生の質を比較するような発言がなされているので困る。総長選について苦言を述べるなどもしている。
- ・対面授業をビデオで見直せるようにしてほしい
- ・他の科目とスポーツ科目が続く時、教室やアクセスポイントからの移動が遠く遅れそう
- ・課題提出の際、自身の理解度確認のためフィードバック(点数やコメント)が欲しい
- ・先生ごとに CLE での課題の採点基準がバラバラなので、採点基準を最初に示してほしい

2. 教務に関する意見

2-1. 履修登録手続きについて

- ◎どの授業をどれくらい履修したらよいかわからなかった。
- ◎「学問への扉」で希望が通りにくい。希望順位の低い科目に割り当てられる人が多かった。
- シラバスで科目ごとに記載事項が統一されておらず内容に差がある。
 - ・シラバスを読めばどの層の受講者をターゲットにしているのかわかるようにしてほしい。
 - ・CLE にすべての機能を集約してほしい。
 - ・「学問への扉」は完全な抽選登録なのか？文系・理系科目の区別などは行っていないか？
 - ・「学問への扉」で第 8 希望まで落ちた人のクラスは、抽選で決定されているのか？
 - ・必修科目が登録できているのか不安だった。予め必修科目を KOAN に表示してほしい。
 - ・履修登録について既にわかっている前提で進めるのではなく、分かりやすい説明を心がけ

てほしい。

- ・一般教養の履修登録は抽選型だが、強い希望のある人と、とりあえず受講している人が混在しているのではないか。学問の扉のように希望制にすれば、取りたい授業を取れると思う。
- ・外国語学部で、他の専攻語の「学問への扉」に興味のあるテーマがあり、選択したかった。
- ・履修指導で、手引きに書いてある以上の情報が手に入らなかった。
- ・テストや成績評価について、未だテストかレポートかなどが分からず困る。
- ・休講により授業内容が変わった時にシラバスをアップデートしてほしい。
- ・全教のホームページに専攻語（外国語学部）の時間割がなく不便。
- ・履修取り消し期間が終わってから授業が本題に入り、後から取り消ししたくなった。
- ・大学側で自動登録している授業については明示してほしい。
- ・集中講義の登録について入学時の情報が少なく、春の登録を逃して取ることができなかった。集中講義の情報をわかりやすく提供してほしい。
- ・メディア（Zoom）で必修授業にもかかわらず定員制限があった。定員を増やしてほしい。

2-2. 講義室利用について

○メディア授業用の指定教室でそれ以外の授業を受けたり喋ったりしている人がいる

- ・シラバスの「指定教室」という表記はメディア授業であってもそこで受けなければいけないかのようにも読めるため、分かりにくい。
- ・学内のどこでメディア授業を受ければいいのかわかりづらい。豊中総合学館にもメディア授業に利用可能な教室についての掲示がほしい。
- ・充電スポットを設けてほしい。
- ・充電スポットが十分になく、PCの充電がもつかを気にしながらメディア授業を受講している。
- ・豊中総合学館はオンライン受講用に使えるのか。
- ・教室案内で「共 A〇〇〇」等と書かれていてもわからない。